

2015年3月31日

東急不動産株式会社

東急不動産が住宅事業で取り組む環境保全活動 BRANZ「緑をつなぐ」プロジェクト 3月29日より奈良県吉野町で300本の桜を植樹

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長::三枝 利行)は、住宅事業による環境保全活動BRANZ「緑をつなぐ」プロジェクトの一環である、奈良県吉野町での桜の植樹活動を、2015年3月29日より実施致しますことのお知らせします。

この植樹活動は2010年からスタートをいたしました。桜の名所吉野山にほど近い吉野町にある津風呂湖で、「津風呂湖自然を守る会」「津風呂湖観光協会」が中心となって湖の外周道路に山桜を植樹する”さくらプロジェクト”に東急不動産株式会社が賛同し、毎年植樹活動を実施しているものです。これまで6回実施し、本年の実施で合計2,779本の植樹となります。



白山桜を300本植樹いたします(2015年3月29日吉野町にて撮影)

■BRANZ「緑をつなぐ」プロジェクト

BRANZ「緑をつなぐ」プロジェクトでは、緑の再生と緑の保全、という2つの活動を行っています。

緑の再生では、奈良県吉野町にて桜の苗の植樹を実施しています。植樹により、森林伐採後の再植林の放棄や、自然災害による荒廃した森の再生に取り組んでいます。

緑を守る活動では、ご購入頂いたBRANZのマンションと同じ面積の森林を1年分保全します。森林の間伐伐採など適正な管理を行うことで、CO2吸収や生物多様性保全といった、森林の健全な機能を発揮することができます。

これからも東急不動産株式会社の住宅ブランド「BRANZ(ブランズ)」では、BRANZ「緑をつなぐ」プロジェクトを通じて、環境保全や社会貢献に取り組んで参ります。

▼BRANZ「緑をつなぐ」プロジェクト植樹活動 ホームページ

<http://sumai.tokyu-land.co.jp/concept/support/project/index.html>

